

## 更生園における相談支援アドバイザーの活動報告について

## 1 目的

民間施設の相談支援専門員等の専門家から、利用者一人一人に合わせた支援の方法や環境等についてアドバイスをいただくことで、外部の意見を取り入れ支援に反映させる。

利用者、外部、専門職の視点からアドバイスをいただくことで、支援の改善を行い支援水準を向上させ、利用者一人一人のより良い暮らしに繋げていく。

## 2 活動

2 法人から月 1 回程度職員を派遣いただき、それぞれ更生園第 1 支援グループ、第 2 支援グループの特定の利用者への支援を実際に見ていただき、助言をいただく。(対象となる利用者は変わることもある)

## 3 事業活動の拡大について

これまで第 1 支援グループの利用者を対象とした相談支援アドバイザー事業を実施してきたが、第 2 支援グループでも、平成 29 年 11 月から事業を実施している。

## 4 アドバイザーからの主な助言

(第 1 支援グループ)

- ・食事場面においてご本人の体調に合わせた支援をするときは、現在は調理方法を工夫しているが、それに加えて料理の提供方法についても工夫をすること
- ・転倒対策としては現在、危険個所に保護材を貼ることで対応しているが、それに加えクッションの活用等一般的な居住環境に近づける工夫をすること
- ・身体障害もある方の地域移行については、身体障害のある方を対象とする施設への移行も視野に入れながら情報収集に努めること

(第 2 支援グループ)

- ・作業のマンネリ化と運動不足を防止するため、自立課題の合間に歩行運動を取り入れること

以上のような助言を受け、支援の質を向上させるため、改善に取り組んでいる。

## 5 その他アドバイザーからの意見等

- ・誤嚥対策として、一口分の量を少なくするティースプーンを使用しており、適切な対策だった。
- ・要介助者に職員がマンツーマンで対応しており、食事のスピードが適切だった。
- ・寮から作業場まで車で移動することで、日中活動への切り替えが促され職住分離ができている。
- ・利用者一人一人に複数の自立課題が用意されていた。